

**製品名: FPR1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11122**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FPR1
別名	FPR1; fMet-Leu-Phe receptor; fMLP receptor; N-formyl peptide receptor; FPR; N-formylpeptide chemoattractant receptor
遺伝子 ID	2357.0
SwissProt ID	P21462
免疫原	抗血清はヒト FPR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

**背景**

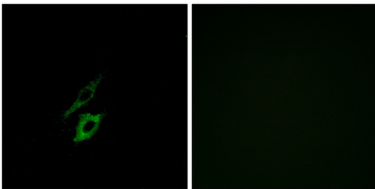
ホルミルペプチド受容体 1 (FPR1) ホモサピエンス この遺伝子は、G タンパク質共役受容体 1 ファミリーのメンバーである哺乳類食

細胞の G タンパク質共役受容体をコードしています。このタンパク質は、微生物による宿主侵入に対する食細胞の応答を媒介し、宿主防御および炎症において重要です。[RefSeq 提供、2010 年 7 月],機能: 強力な好中球走化性因子である N-ホルミルメチオニルペプチドに対する高親和性受容体。FMLP が受容体に結合すると、好中球が活性化されます。この反応は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質を介して媒介されます。 ,PTM: リン酸化;脱感作に必要なものである。 ,類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。 ,組織特異性:好中球。 ,

## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



FPR1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。